

第12回 かながわ感動介護大賞

受賞作品紹介



思い出すのは

株式会社アイシマ グループホームほのぼの

田畑 直子様

思い出すのは、冗談を言った時の笑顔、A様との出会いはグループホームにて、私より半年早く入所されたA様。「あんた住まいはどこ?」「子どもは?」毎日繰り返される会話。夜勤では「身体辛いだろ?私も昔、夜勤をやってたからわかるよ」夜勤に入ると繰り返される会話。A様と最後の時をす

ごしてから時間がたつのに、出勤する度、思い出します。夜間に職員に呼び出され居室に行くと顔をくっしゃとして私を見て笑ったA様「心配させないでください」というと手をしっかりと握ってくれた。お話す事は出来ないけれど、握った手は力強く、離してはくれなかった。その時にもう逝かれてしまうのですねと心の中で会話をしました。手を握った後に「ご家族に連絡してきます」というと手を離されたA様。待っていて下さいね。連絡しますから。A様は眠りにつきました。

次の日ご家族にお会いした後、眠るように旅立たれたA様。息子様に会いたかったのですね。良かったです。にぎやかな事が好きで冗談が好きで時より冗談が過ぎて反省されていた事。怖がり節分では鬼を見て泣きじゃくってしまった事。沢山の思い出。辛い日も繰り返される会話が私を元気にしてくれ、今でも出勤すると今日も宜しくと挨拶にいきそうになり、寂しくなるけれど私はこの仕事を続けます。

利用者様を一人では逝かせない。それはA様が最後握ってくれた手に全てがつまっています。

本当に素敵な出会いをそして別れを有難うございました。

